

女子ホッケー チャンピオンズトロフィー

大会名	チャンピオンズ トロフィー	日付	2014/12/4
場所	アルゼンチン・メンドーサ	天候	晴れ
試合	クォーターファイナル	通算結果	日本 3敗1分け

Country	RESULT	Country																
日本 1	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>1Q</td><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">3</td></tr> <tr><td>2Q</td><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> <tr><td>3Q</td><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> <tr><td>4Q</td><td style="text-align: center;">1</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> </table>	1Q	0	-	3	2Q	0	-	0	3Q	0	-	0	4Q	1	-	1	4 オーストラリア
1Q	0	-	3															
2Q	0	-	0															
3Q	0	-	0															
4Q	1	-	1															

Start	No.	Name	備考
	1	大家 涼子(GK)	
✓	2	坂井 志帆	
6	3	眞鍋 敬子	
✓	4	野村 香奈	
✓	5	中川 未由希(C)	
✓	6	大田 昭子	
6	7	大塚 志穂	
✓	8	林 なぎさ	
✓	9	中島 史恵	
6	10	加藤 彰子	
✓	11	柴田 あかね	
✓	12	阪口 真紀	
13	13	田中 泉樹	
9	14	一谷 奈歩	
✓	16	永井 友理	
✓	17	永井 葉月	
✓	18	浅野 祥代(GK)	
6	23	金藤 祥子	
監督		永井 祐司	
UMPIRE		ALKEMADE Fanneke(NED)	

Start	No.	Name	備考
4	1	NANCE Gabrielle	
4	2	NANSCAWEN Georgia	
✓	3	PERIS Brooke	
✓	4	EASTHAM Casey (C)	
✓	5	WELLS Ashlee (GK)	
4	6	DWYER Kirstin	
✓	7	KENNY Jodie	
✓	8	NELSON Ashleigh	
✓	9	FLANAGAN Anna	
✓	10	DWYER Rebecca	
✓	11	McMAHON Karri	
✓	13	BONE Edwina	
4	15	SPENCE Amelia	
✓	20	SLATTERY Kathryn	
✓	26	SMITH Emily	
35	28	CARMICHAEL Mathilda	
4	29	ATTARD Teneal	
	32	SMITH Audrey (GK)	
監督		COMMENS Adam	
UMPIRE		ROSTRON Annelize(RSA)	

Country	Min	Name	Action	Score
AUS	4	NANSCAWEN Georgia	FG	0-1
AUS	7	KENNY Jodie	PC	0-2
AUS	9	KENNY Jodie	PC	0-3
JPN	51	大塚 志穂	FG	1-3
AUS	54	FLANAGAN Anna	PC	1-4

Country	Min	Name	Action	Score

"チャンピオンズトロフィー2014クォーターファイナルは世界ランキング2位オーストラリアとの対戦である。
 Q1日本のセンターパスより試合が開始された。立ち上がり4分アウトレットからのボールを奪われ、レフトからセンタリングを#2NANSCAWEN Georgiaに押し込まれ先制される。7分には、ライト側よりサークルに向け打ち込まれたボールを処理できずPCを奪われると#7KENNY Jodieにドラッグで決められる。更に9分にもPCを奪われると、#7KENNY Jodieに同じ右下に決められ3点差となる。
 Q2に入ってから、相手のパスまわしに我慢のホッケーが続く。時折カウンターを仕掛けるが相手の守備を崩すことができない。時間の経過と共に、自陣深くでパスを回されるようになったが粘ってピンチをしのぎながら終了を迎えた。
 Q3後半に入り、積極的にプレッシャーをかけはじめると、オーストラリアも少しずつミスが目立ち始めた。2分にはレフトサイドから崩して攻め込みサークル内で待つ中川に繋ぎシュートするがGKにセーブされる。逆に、オーストラリアは素早いリスタートからパスをつなぎPCを奪うがボールがとまらない。10分センターライン付近からカウンターで攻め込み、一度は相手に奪われたが、金藤、大塚が奪ったボールを中川がサークル内に持ち込み大塚にパス大塚が回り込み野村にパス、そのボールを相手DFが弾いたボールを中川がダイレクトシュートするがゴール左に外れる。終了間際にPCを2本獲得するが決めることができない。
 Q4も積極的にプレッシャーをかけ続けた。6分相手コートからのパスを、柴田が見事なインターセプトをすると、リードしている金藤にパス、このパスを受けながら落ち着いて逆サイドを走り込んできたノーマークの大塚へパスし1点を返す。その後は一進一退の攻防が続く。10分自陣アウトレットからカウンターをされると、DFの故意の反則でPCを奪われる。このPCを#9FLANAGAN Annaに右上に決められ4点目を奪われた。終了間際に23mより永井友理がドリブルよりシュートをはなつがゴール右上に外れ1-4で破れた。
 この結果、日本は5-8位決定戦にまわることとなり、12月6日11:30よりイングランドと戦うことになりました。

日本	5	シュート数	6	オーストラリア
	2	PC数	5	

記載責任者:長谷部謙二
 校閲:安田善治郎